

夢と誇り

大西ひでと
後援会報

vol.5



創造性豊かな 海園・田園・人間都市へ

4年前、私は「イノベート高松一夢と誇りを持って!」をスローガンに、「文化の重視」と「人間性の回復」を基本理念として、真の田園都市高松を構築すべく50の施策をマニフェストに掲げ、高松市長選挙に臨み、当選。平成19年5月に高松市長に就任し、以来、誠心誠意、市政発展のために力を尽くしてまいりました。

この間、大西ひでと後援会員の皆様方には、後援会活動を通して、また、それぞれのお立場から市政運営に多大なるご支援、ご協力をいただきましたこと、改めまして厚くお礼申し上げます。

お陰さまで、マニフェストでお示した施策については、すべての項目において着実な成果が見られるところであります。

私は、この4年間の実績の上に立ち、高松のまちづくり、人づくり、行政改革の歩みを更に継続、発展させるため、来るべき市長選挙において市民の皆様のご支持が得られるならば、引き続き高松市政のかじ取り役をしっかりと担ってまいり、決意をいたしております。

「高松クリエイティブ・イノベーション」。

目指すべきは、すべての市民が暮らすことに誇りの持てる「創造性豊かな海園・田園・人間都市、高松」です。

今年もよろしくお祈りいたします。

高松市長 大西秀人

最後に、わが郷土高松のリーダーであり、大西市長も同様、人格、識見共に大変優れた方であり、閉塞感で苦しんでいる高松を救える人物はこの人において他にはありません。本年は選挙の年であり、皆様方の力をお借りして是非とも二期目に向けて大仕事を成し遂げて頂きたいと念じております。

最後になりましたが今年が皆様方にとりまして幸多き年になりますよう祈念申し上げます。



リーダーシップ
大西ひでと後援会会長
平田 喜一郎

企業は勿論のことあらゆる組織は、リーダーの考え方、人格によって発展もするし衰退もいたします。私の経営の師であり又人生の師でもある京セラの創業者稲盛和夫氏は、第二電電をKDDIに育てあげ、そして現在日本航空の再建に取り組みでおられます。稲盛氏が企業に取り組み姿勢に「動機善なりや私心無かりしか」というものがあります。このような考え方で同氏はこれまで取り組んできた事業を全て大成功させてきました。日本航空も立派に再建できるものと信じております。

夢と誇り 大西ひでと後援会会報 vol.5 平成23年1月20日発行

編集発行/大西ひでと後援会 〒760-0061 高松市築地町2-5 Tel.087-822-1024

NEWS

大盛況 瀬戸内国際芸術祭2010 —瀬戸内海や島の魅力を世界へ—



瀬戸内国際芸術祭の開会式で、芸術祭実行委員会の副会長として挨拶する大西市長



サンポート高松での開会式

7月19日に開幕した現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2010」が、10月31日、大盛況のうちに105日の幕を閉じました。実行委員会の委員を始め、かつてないほどの観光客の受け入れ

れた方々の心を魅了したと感じています。鳥々の生活に再び光を当て、元気再生の機会として地域の活性化を図ろうとしたこの芸術祭の盛り上がり、過性のもので終わらせないために、是非、3年後の2013年に、世界に誇るべき瀬戸内海を舞台として、再び、開催できることを目指していききたいと思っております。



玉藻公園披露間で催された「おもてなし庵」

にご協力いただいた島の住民や、献身的に直接運営に携わっていただいた「こえび隊」など、関係者の皆様、改めて感謝しています。この芸術祭には、都会の若者や家族連れなどを中心に、予想の30万人をはるかに上回る約94万人もの見物客が訪れ、アート作品の魅力とともに、瀬戸内海の風景が最大のアートのなごみ、訪

高松市・南昌市友好都市提携20周年記念 市民親善訪問団ら約150人が訪問



高松市が中国南昌市と友好都市提携を結んで昨年20周年を迎えました。これを記念し、10月14日から19日までの6日間、南昌市を公式訪問。20周年記念式典などの諸行事に出席、交流を深めました。

今回は、私を団長とする本市の公式代表団と市民親善訪問団の総勢約150人が、南昌市で開催された記念式典などに参加。現地では



ことを、本当に嬉しく思っています。尖閣諸島に関する問題で、日中両国間の緊張が高まる中で、訪問ではありましたが、トラブルもなく、草の根交流として、大きな意義があったものと思っております。

連日大歓迎を受け、その心温まるもてなしに感激するとともに、20周年を共に祝いできました。

高松市市制120周年を機に さらなる飛躍・発展を願って



高松市が明治23年2月15日に市制を施行し、昨年で120周年という記念すべき年を迎えました。これを市民の皆さまと共に祝い、将来に向けて飛躍・発展することを願う10月5日、サンポートホール高松大ホールで記念式典を開催しました。

式典では、オープニングに讃岐国分寺太鼓保存会による演奏の後、私から式辞を述べるとともに、市政発展の功労者15人を表彰。また、本市出身の日本舞踊家・吉村ゆきそのさんによる「祝の舞」や、第2回高松国際ピアノコンクールセミファイナリストの富田珠里さんと、瀬戸フィルハーモニー交響楽団による記念演奏も実施しました。



2010後援会活動報告

- 1月20日 後援会報「夢と誇り」第4号を発行
全会員に会費納入依頼と同封送付しました。
- 3月 平成22年度通常総会案内状の送付
- 4月10日 第1回役員会を開催
総会に提出する平成21年度活動報告・収支決算報告及び平成22年度活動方針(案)・平成22年度収支予算(案)、役員を選任(案)を審議、いずれも承認。

- 総会に提出しました。
- 4月10日 総会および懇親会を開催
役員会終了後、引き続き平成22年度通常総会を開催しました。大西市長より「高松市のまちづくりの現状と課題」について講演をいただきました。提出議案等につきましては、いずれも可決承認され、通常総会は盛会のうちに終了しました。
- 9月9日 会長・顧問・副会長会を開催
- 12月6日 第2回役員会を開催



大西ひでと後援会事務所のご案内

〒760-0061 高松市築地町2-5 Fax.087-822-2024
Tel.087-822-1024

大西ひでと後援会 ウェブ検索
http://www.oi-hideto.com

活動報告 2010

January

1/5 初市祈願祭



早朝6時から高松市中央卸売市場で開催された「初市祈願祭」に出席。中央卸売市場をより「安全・安心」で「効率的」な流通施設とするようご尽力をお願いしました。

February

2/7 新春子どもフェスティバル2010



寒さに負けない元気な子どもを育成する「新春子どもフェスティバル2010」を開催。保護者も童心に返って子どもと一緒に一日を過ごし、親子のふれあいを深めました。

March

3/17 第2回 高松国際ピアノコンクール



市制120周年の節目の年に、多くの音楽ファンの方々に、世界的に優れた音楽に触れる機会をお届けできることに関し、開催にご尽力いただいた皆様に謝意を表しました。

April

4/15 第1回「市長まちかどトーク」



市民活動団体のもとへ直接出向いて意見交換を行う「市長まちかどトーク」を実施。第1回目として「NPO法人いのちの応援舎」の皆様と、意見交換を行いました。

May

5/22 「船の祭典2010」開会式



高円宮妃久子さまをお迎えし、宇高航路の開設100周年記念イベント「船の祭典2010」を開催。本年度の「海の日」モデル地区として、高松市が認定を受けました。

June

6/14 イサム・ノグチ遊具完成記念式典



世界的な芸術家イサム・ノグチ氏の遊具の中央公園設置に当たり、ご協力いただいた(財)イサム・ノグチ日本財団の和泉理事長らを招いて記念式典を開催しました。

July

7/2 高松市男木交流館が落成



「瀬戸内国際芸術祭2010」の開催にあわせ男木港に新たに整備を進めてきた「高松市男木交流館」が完成。建設にご尽力いただいた方々に感謝状をお渡ししました。

August

8/8 瀬戸内国際シンポジウム2010



瀬戸内国際芸術祭の一環として、「本当の豊かさとは何だろう」をテーマに、「アート」、「海」、「食と農」、「ツーリズム」の4つの分科会とシンポジウムを開催しました。

September

9/24・25 古代山城サミットに参加



日本最古の山城「大野城」(国特別史跡)がある福岡県大野城市で開催された「第1回古代山城サミット」に参加。早い時期に、高松でも開催できればと考えています。

October

10/3・4 高松市・南昌市 友好都市提携20周年



中国の南昌市との友好都市提携20周年を記念し、南昌市からの公式訪問団を迎えて記念式典を開催。玉藻公園での記念植樹や南昌市少年宮の公演などを催しました。

November

11/3 サンポート高松 トライアスロン大会



サンポート高松周辺で初のトライアスロン大会が開催され、地元市長として、また、大会名誉会長としてスターターと表彰式プレゼンターを務めました。

December

12/6 カマタマール讃岐 JFL昇格決定

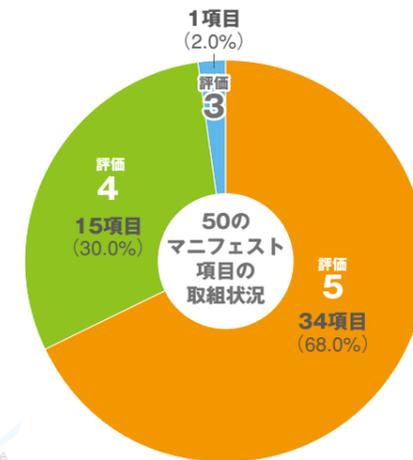


カマタマール讃岐が「全国地域サッカーリーグ決勝大会」で優勝し、JFL昇格を決定。熊野社長と香西専務が市役所を訪れ、うれしい報告を聞かせてくれました。

市長マニフェストに掲げた50項目について、これまでの進捗状況を各部署で自己評価し、5点満点で取りまとめました。

評価区分 平均点

5	4.5以上	順調に進んでいる
4	3.5以上	概ね順調に進んでいる
3	2.5以上	順調な進捗に向けて取組中
2	1.5以上	着手段階
1	1.5未満	未着手



まちづくり

- 1 道州制時代の中枢拠点都市・高松をつくります。
- 2 福祉を充実し、安心・安全に暮らせるまち・高松にします。
- 3 人と環境にやさしいまち・高松をつくります。
- 4 芸術と文化のまち・高松を目指して取り組みます。
- 5 市民と行政の協働によるまち・高松をつくります。



	5 4.5点～	4 3.5点～	3 2.5点～	2 1.5点～	1 1.5点未満
1	4	4	1		
2	6	4			
3	5	1			
4	4				
5	3	2			

取組状況

丸亀町商店街再開発事業を推進したほか、新たな都市計画マスタープランを策定し、コンパクト・エコシティ推進事業に取り組みました。また、中央公園を芝生化するとともに、サンポートのにぎわい創出や高松城天守閣復元整備、玉藻公園整備事業にも取り組みました。さらに、LRTを始めとした新交通システムの導入の可能性も含めた「総合都市交通計画」を策定しました。

防災ハザードマップを作成するとともに、保育所や学校などの耐震化を推進しました。美しい景観を保護・復元するため「高松市美しいまちづくり条例」を制定したほか、地球温暖化対策として、事業者や市民団体との協定によるレジ袋削減推進事業や、太陽光発電の普及促進に取り組むとともに、「高松市地球温暖化対策実行計画」の策定に向け取り組みました。このほか、高松市環境会議からの提言を基に「高松市持続可能な水環境の形成に関する条例」を制定するとともに、「高松市水環境基本計画」の策定に向け取り組みました。

香川県と共に瀬戸内国際芸術祭を開催し、多くの方々に来場していただいたほか、香川フィルムコミッションへの支援などを行いました。市内全44地区でコミュニティ協議会が設立され、地域の各種事業・団体への補助金を「地域まちづくり交付金」として一元化し、その使途を地域の自主性に委ねるとともに、他の地域のモデルとなるような事業に補助金を交付する地域ゆめづくり提案事業を実施しました。

人づくり

21世紀を担う子どもたちに良質な教育環境を整えます。また、市民の皆さんの地域における自己実現の機会を増大させ、生き生きとした暮らしを実現するための環境を整えます。



	5 4.5点～	4 3.5点～	3 2.5点～	2 1.5点～	1 1.5点未満
1	5	1			

取組状況

市中心部における学校の適正規模化と学校規模の格差是正を図り、より良い教育環境を創出するため、日新・二番丁・四番丁の3小学校を統合し、新番丁小学校を新設するとともに、松島・築地・新堀屋町の3小学校と光洋・城内の2中学校を統合し、小中一貫教育を行う高松第一小・中学校を新設しました。また、少人数学級や英語指導助手派遣などによる特色ある学校づくりに取り組みました。

香川オリブガイナースなどの地域密着型トップチームへの支援事業を行ったほか、サンポート高松トライアスロン大会や、市民総参加のイベントである高松市民スポーツフェスティバルを開催し、幅広いスポーツ活動の振興に取り組みました。

行政改革

- 1 情報公開を徹底し、無駄を省くとともに説明責任を全うします。
- 2 コミュニケーションを活性化し、他自治体とも協調・連携して、地方分権を推進します。



	5 4.5点～	4 3.5点～	3 2.5点～	2 1.5点～	1 1.5点未満
1	5	2			
2	2	1			

取組状況

情報公開条例に基づき情報公開を推進したほか、予算編成に当たり、予算編成過程の概要(予算編成の流れ)や予算編成状況(要求額・市長裁定額)等を、市ホームページで公開するとともに、プライマリーバランス(公債の元利償還金を除いた歳出と、公債発行収入を除いた歳入のバランス)の黒字を維持しています。また、職員数の適正化計画を策定・推進し、国の目標値を上回る、11.4%削減を達成するとともに、職員昇任試験制度を導入しました。

本市の自治の基本理念や自治運営の基本原則などを定めた「高松市自治基本条例」を制定しました。また、香川県市長会において、道州制と基礎自治体の在り方の研究を行いました。このほか、周辺5町との協定により、「瀬戸・高松広域定住自立圏」を形成し、圏域での連携事業に取り組んだほか、香川県知事とのトップ会談や、県・市政策連携会議を定期的に開催しました。

平成 22年度

高松市長マニフェスト取組状況

市長就任から取り組んできた、高松の「まちづくり」「人づくり」「行政改革」を三本柱とするマニフェスト。間もなく、第1期4年間の締めくくりに時を迎えようとしています。これまでの取り組みを総括し、次のステップへの足がかりにまいります。